

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	HER2陽性乳癌再発危険因子の検討と早期発見の治療戦略		
2. 対象患者	2005年1月から2014年12月までに当科で手術を行ったHER2陽性乳癌患者さん162例		
3. 対象となる期間	2005年 1 月 1 日 ~ 2014年 12月 31 日		
4. 実施診療科等	消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	藤田 博陽	所属 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	HER2陽性乳癌はHER2陰性乳癌に比べて予後が悪いと言われていますが、ここ数年における薬物療法や画像診断法の大きな進歩により、転移乳癌の生存率は徐々に改善してきています。しかし、比較的早期の症例であっても、その再発リスクはHER2陰性乳癌と比較して高く、また乳癌術後の適切な画像診断の時期および間隔については未だ議論されているところ です。		
8. 研究の目的	2005年1月から2014年12月の期間に、HER2陽性乳癌の診断で手術を施行した162名の患者さんを対象とし、対象症例の診療録より、臨床所見、手術所見、病理所見などを後方視的に検討し、再発に関する因子や再発後の治療戦略について明らかにすることを目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録、血液画像検査を利用し、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、画像所見、術式、合併症、予後などの情報を利用し、統計学的手法を用いて関連性を見出し、再発関連因子等を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 藤田 博陽		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080